

第1回臨時議会 村税条例一部改正や 予算など専決処分承認

五月十八日に第一回臨時議会が招集され、平成四年度一般会計補正予算などの専決処分した案件が承認されました。

おもしろい話題
平成五年度分の個人住民税均等割の非課税限度額で扶養親族等を有する場合の加算額六万四千円を十萬四千円に、所得割の非課税限度額で扶養親族等を有する場合の加算額が十九萬円から二十五萬円にそれぞれ引き上げられました。また、固定資産税関係では平成六年度評価替え関連で、住宅用地に係る課税標準の特例等

の改正が行われました。平成四年度横越村一般会計補正予算(第6号)
既定の歳入予算総額に二千九百三十七万四千円を追加、百八十四万六千円を減額し、歳出予算総額に五千二百三十三万五千円を追加、二千四百七十七万二千円を減額し、総額をそれぞれ三十二億九千四百八十八千円としたもの。

主な補正内容は、庁舎ラエンス修繕料、一般農道整備事業(糸魚堀)負担金、小学校カバン収納ロッカーなどの備品購入費を追加したもの。

農業生産組織協議会を設立 会長に坪谷徳一さん

村における稲作も年々農作業や利用権設定などで、農地の流動化が進んでいる状況にあります。

これらの農用地は、生産組織や個人に委託されますが、ほ場の分散などによる機械の利用効率の低下や経営規模からくる労力不足等で受託も限界になりつつある組織もあります。

そこで、村内にある七生産組織が協力し、作業調整することにより機械の効率

特別会計補正予算(第3号)
既定の歳入予算総額に千六百二十三万九千円を追加、二千四百六十九万九千円を減額し、歳出予算総額に八百三十七万円を減額し、総額をそれぞれ五億五千三百七十三千円としたもの。

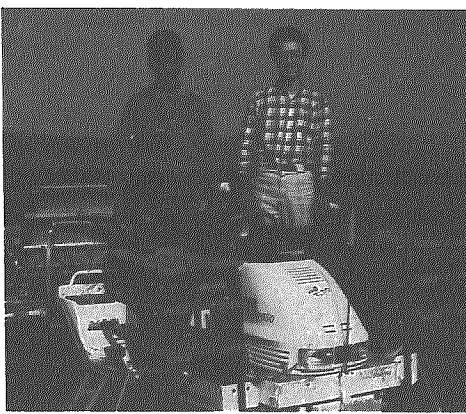
平成四年度横越村家畜診療所特別会計補正予算(第2号)
既定の歳入予算総額に二千円を追加し、歳出予算総額に二千円を追加し、総額をそれぞれ千四百五十万二千円としたもの。

中蒲原酪農ヘルパー
利用組合設立
組合長に杉本治一郎さん
酪農経営は、家族労働を主体とし、かつ毎日の搾乳労働が必須であることから極めて一年中拘束性が強く、このことが、酪農経営の担い手が定着しにくいことの原因となっています。

酪農家が酪農経営を安定的に継続していくためには、休日の確保、突発事故等で酪農家に代わって飼養管理を行うヘルパー制度を確立することが急務で、四月十五日、「中蒲原酪農ヘルパー利用組合」が設立されました。本村から十四名が組合員になり、組合員からは「安心して休める日があったうれしい。これからはどんどん利用したい」と設立をよるこんでいます。

利用組合設立
組合長に杉本治一郎さん
酪農経営は、家族労働を主体とし、かつ毎日の搾乳労働が必須であることから極めて一年中拘束性が強く、このことが、酪農経営の担い手が定着しにくいことの原因となっています。

インドネシアから 農業研修生を受け入れ



田植え作業中のバルトノさん(左)と諸橋俊晴さん(右)

インドネシアからの農業研修生(バルトノさん(左))を十一月二十六日まで沢海の諸橋千晴さん宅が受け入れていました。



福祉センター脇交差点

諸橋さん自身、稲作作付面積七・五ha、施設園芸七百八十二坪、路地野菜六haなど複合経営を行っており、個人経営では、村で一、二の大規模農家です。

バルトノさんは、研修期間中、稲作や路地野菜、施設園芸などを学びながら、インドネシアに帰られてから実践にいかしたいと意欲的に農作業に取り組んでいます。

県内では、平成四年中に自動車乗車中の交通事故で百十八人が亡くなっています。

このうちシートベルトを着用していなかった人は八十六人(約七割)であり、これを着用していたならば約四割の人が助かったと推定されています。

このようなことから、県下市町村でシートベルト着用推進モデル路線を設定して、百%着用推進運動を十月三十一日まで実施しています。

研修の後に帰る
国民の祝日に関する法律により、単大子殿下の「結婚の儀」が行われます。六月九日(祝日)となり、祝日関係の業務は休ませさせていただきます。

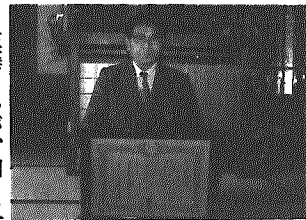
なお、施設利用は、次のとおりとなりますのでご注意ください。

休業
役場、中央公民館、保育園
利用できる施設
老人福祉センター(六月十日は休館)
ごみ収集
ごみ収集は休ませさせていただきます。

沢海・木津・二本木地区においては、燃えるごみの収集日となっており、大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

なお、当日は、ごみ収集ステーションには絶対にごみを出さないで下さい。

佐藤三三さん(69) 高橋三郎さん(60)が 藍綬褒章



藍綬褒章を受章した佐藤三三さん

佐藤さんが、四月二十九日地方自治功労者として藍綬褒章を受章されました。

昭和三十一年一月横越村議会議員に当選以来、連続十期三十六年間村議会議員として現在も活躍されており



藍綬褒章を受章した高橋三郎さん

高橋さんは、昭和二十年四月、十六歳で横越村警防団(のちに消防団に改称)に入団し、四十七年間の長期にわたり、分団長、副団長、団長を歴任し、その重責を果され今年三月勇退されました。

この間、一貫として村の風、火、水害予防、防止対策に献身的な努力を重ね、今日の本村消防団の礎を築いた功績で、このたび褒章の榮譽に輝きました。

(喜びの声)
昭和三十一年一月二十七日の村議会議員補欠選挙に出馬し、当時リヤカーにバイクをつけて本村を駆けまわったことがなつかしく感じられる。

ふりかえってみると苦しいことばかりであったが、いろいろな人と出会い、学ん

だことも多く、今になるといいことがいっぱいという印象で、村民の皆様に感謝申し上げます。

消防団分団で 春季演習



春季演習する第4分団(木津)放水訓練

各分団で消防団の春季演習が行われました。

第四分団(木津)では、五月晴れの十六日に木津農村公園で行われ、木津の代表区長、酒井昇さんより「消防団は、災害から生命と財産を守ることが使命で日々研鑽されるよう努力してほしい」と訓示があり、その後、小型ポンプ操作訓練や放水訓練などに汗を流しました。

- 横越村消防団新幹部
- 団長 田村頼宏(藤山)
 - 副団長 熊木惣衛(二本木)
 - 田中 武(沢海)
 - 田村清一(横越)
- 退団員
- 第一分団(横越) 第一班 中村 勝利・神田 和博
 - 由野 徳雄・本間 悟
 - 第一分団(横越) 第二班 井越 章嘉
 - 第一分団(横越) 第三班 茅原 武夫・新田見光弘
 - 第三分団(小杉) 第一班 齊藤 孝幸
 - 第三分団(小杉) 第三班 宮沢 弘昭
 - 第四分団(木津) 第一班 佐藤 孝一・宇野 勝幸
 - 加藤 敦
 - 第四分団(木津) 第三班 金子 明裕・目黒 克之
 - 第五分団(二本木) 第一班 井越 勝
 - 第五分団(二本木) 第二班 塚原 常雄・田中 洋生
 - 渡部 和雄

坂内村議会議長が 一日郵便局長に 通信記念行事



挨拶をする坂内議長

郵政省では、毎年四月二十日の通信記念日を中心にして一週間、いろいろな記念行事を実施しています。

横越郵便局では、四月二十日、坂内村議会議長に一日局長を委嘱しました。坂内さんは、午前八時二十分に出勤。

職員一同を前にして「皆さんの取組んでいる郵便、貯金、保険の仕事は親しまれ、利用され、国民の皆さんからは素晴らしいと支持、評価されている。

逆に政治は、七割の国民の皆さんから不支持の状態が残念だ。仕事ぶりを見てみるときびきびしており、規律も立派だ。良いことは、当たり前でニュースには、なかなかなりにくいですが、今の姿で今後も努力してほしい」と訓示がありました。

このあと、窓口業務や機器類、郵便配達準備作業などを視察し、岡本局長から郵政の三事業の現況と横越局の業務内容について説明を受けて行事を終りました。